

# 原著序文

# 現

在、地球温暖化が大きな問題になっていますが、近い将来には、生態系の劣化も大きな問題となってきます。

「ミレニアム生態系評価 (Millennium Ecosystem Assessment)」は世界の森林、湿地帯およびその他の生態系に関する最初の地球規模の評価報告書です。この報告書により、過去50年間に生態系が劣化した速度と規模が、人類史上どの時期よりも甚大であることが明らかになりました。このような劣化が見過ごされてきた結果、世界の生物多様性だけでなく、世界のビジネスも危険にさらされることとなりました。なぜなら企業は淡水、木材、遺伝子資源、花粉媒介、気候調節、自然災害からの防護など、健全な生態系が提供するサービスに依存しているからです。

本書は生態系の変化と事業上の目的とを結び付けるための積極的な取り組み方を企業経営者に提供します。「企業のための生態系サービス評価」は生態系に依存し影響を及ぼすことで生じるリスクとチャンスを管理するために、企業の戦略策定を支援する体系的な方法論です。これは企業戦略を立案するためのツールであり、既存の環境マネジメントシステムを補強します。

私たち3つの組織は、お互いにスキルを出し合い「企業のための生態系サービス評価」を開発しました。世界資源研究所 (World Resources Institute、以下WRI)は生態系サービスを企業各社の意思決定プロセスの軸に組み込むための活動をしており、その一環として本書の方法論を開発し、実地検証を統括しました。「持続可能な開発のための世界経済人会議 (World Business Council for Sustainable Development、以下WBCSD)」に加盟する5社、すなわち、アクゾノーベル (Akzo Nobel、化学、塗料の製造、販売会社)、BCハイドロ (BC Hydro、カナダの電力会社)、モンディ (Mondi、製紙会社)、リオ・ティント (Rio Tinto、銅、金およびその他非鉄金属、工業用原料の製造、販売会社)、シンジェンタ (Syngenta、農薬の開発、製造、販売会社)は実地検証を行い、方法論に対して意見を提出しました。メリディアン・インスティテュート (Meridian Institute)は「ミレニアム生態系評価」の立案と統括を行った際の経験を活かし、事務局の中核メンバーとして、プロセスの計画とファシリテーションの技術を作業チームに提供しました。

世界的な気候変動と、人口増加による需要の増大で、生態系の劣化はさらに進む可能性があります。このこと



写真提供：モンディ  
南アフリカTygerskloof地区にあるモンディの農園 (*Eucalyptus grandis*)

はビジネスの前提や慣行に問題をつきつけることとなります。企業が、やがて明るみになるリスクやチャンスを管理するために、そして、自然環境のより良い世話役となるために「生態系サービス評価」は将来性のある方法を提供します。私たち3つの組織は経済界と協力して、この方法の標準化に向けて努力することを誓います。

**Jonathan Lash**  
世界資源研究所(WRI)  
所長

**Björn Stigson**  
持続可能な開発のための世界経済人会議 (WBCSD)  
会長

**John Ehrmann, PhD**  
メリディアン・インスティテュート  
マネージングパートナー